

中小企業組合の羅針盤

診断士の視点から



中小企業診断士 吉川智也

» RPA活用による業務効率化

様々な業界で人手不足の状況が続いています。今後も生産年齢人口の減少により、この状況は長く続くことが予想されています。このような環境下で、デジタル技術の活用は、人手不足の対応策のひとつになります。生産、受発注、在庫管理、会計など、業務に応じたITツールがありますが、業務効率化においては、様々な場面で汎用的に活用できるRPAをおすすめします。

RPA(Robotic Process Automationの略語)は、PCを使って行う定型的な作業を自動化するツールです。定型的な作業を自動化することで、労働力不足の解消や残業時間の削減が期待できます。また、作業ミスの軽減や24時間休まず作業できるなどのメリットもあります。たとえば、以下のような業務の自動化が考えられます。

- ・メールに添付されている請求書ファイルを、経理部の月ごとのフォルダに保存する
- ・入金情報を確認して売掛金の消し込みをおこない、営業担当に入金済み通知を送る
- ・売り切れ商品のリストを作成し、仕入先ごとに発注書を作成して送信する
- ・公共工事の入札情報を調べて、関連ファイルをまとめてフォルダに保存する

RPAはたくさんの種類がありますが、最近では安価に利用できる製品も増えてきています。たと

えば、[RPAの活用事例](#)をご覧ください。また、[RPAの活用事例](#)をご覧ください。ユーザーであれば無償で利用できます(2024年3月現在)。また、簡単な業務であれば、プログラミング不要(ノーコード)で利用することも可能です。さらに、2024年2月には、Windows搭載のCopilotに自然言語で作業を依頼することで、Windows上でさまざまな操作をユーザーに代わって自動的に実行してくれる機能の試験導入が発表されました。今後は、具体的な業務内容をPCに入力すれば、その業務を自動化するRPAが自動で作成されるようになることが期待できます。

今後も人手不足の状況は長く続くことが予想されますが、RPA活用はひとつの武器になります。RPAを活用して、組合の業務、組合員である企業の業務を効率化してください。まずは、上記のように低コストで、簡単な業務から小さくチャレンジしてみることをおすすめします。中小企業診断士は、RPA導入を単にツールの活用だけではなく、業務プロセスの改善、業務フローの見直し、人材育成など、経営全般の視点から俯瞰してアドバイスが可能です。当協会までお気軽にご相談ください。

お問い合わせ 一般社団法人埼玉県中小企業診断協会
TEL:048-762-3350 ホームページ:<https://sai-smeca.com/>